

## 令和5年度 第1回学校運営協議会について（報告）

令和5年7月12日（水）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

**会 長**：中島 智子（大阪大谷大学 元特任教授）  
**副会長**：宇野 里砂（武庫川女子大学 准教授）  
**委 員**：吉松 崇（藤井寺市立藤井寺小学校 校長） ・欠席  
竹澤 住江（卒業生保護者 児童発達支援・放課後等デイサービス Snuggle UP）  
尾濱 一信（藤井寺市川北地区 区長）  
安井 完（PTA会長） \*敬称略

### 1 開会

- ・挨拶 校長 高田 清將
- ・配布資料の確認
- ・委員紹介
- ・会長、副会長選出と承認

### 2 報告

- ① 令和4年度 進路状況について（進路指導部）  
卒業生の進路について説明を行った。
- ② 令和5年度 教科書選定について（教務部）  
教科書選定の経緯の説明を行った。
- ③ その他  
学校経営計画に関わる研修等の取り組みおよび講師の紹介を行った。

### 3 議題 ①令和5年度「学校経営計画」について

#### 4 協議内容

- ① 令和4年度「学校経営計画」について（校長）  
（委 員）昨年度までであった「いじめ対策委員会」の項目が無くなっているのはどういう理由か。  
（事務局）「人権」の中を含め、昨年度から継続して取り組んでいる。  
  
（委 員）大阪府教育庁から、医療的ケアのヒヤリハットの基準が示されたところ。学校内でも、周知し沢山の事象を集積して行ってほしい。  
（事務局）毎月保健部で集約している。職員朝礼で周知している。  
  
（委 員）一般校への進学に関して、学校に入学してくる児童生徒の家庭には、どのような情報を提供しているのか。また進路指導はどのようにしているのか。  
（事務局）実績は少ないが、一般校進学希望者には個々に応じて対応している。  
（事務局）特に中学部の新入生に関しては、丁寧に対応する必要があり、チャレンジテストに取り組む等、受験に備えている。  
（事務局）支援学校の子どもたちにとってのキャリア教育とは、自分の気持ちを相手に伝えることであったり、集団の中で臆することなく過ごすことができることであったり、と広く捉えてい

る。

(委員) 地域支援のセンター的機能となる中で、地域の学校のニーズはあるのか。

(事務局) 令和 4 年度に文科省から支援学級及び通級指導の取り組みの推進の通達があった影響で、小学校からの自立活動の研修依頼のニーズが増えてきている。

(委員) 6月2日の防災体制レベル4の時は、避難所が開設され12名が避難してきた。地域の課題として、急な緊急事態のときに、対応できる組織体制作りをしなければならない。住民の高齢化が進んでいるので、学校への協力がなかなか難しいのが現状。

(委員) 「働き方改革」として、これまで進めてきたことがあれば。

(事務局) 全府的な取り組みの10項目があり、それを中心に取り組んでいる。週1回の定時退庁日を設定することにより、時間外勤務の総時間数が減ってきている。業務の偏りがあり45h/月を超過する教員もいるため、業務の精選をしていきたい。

## 5 議決事項

なし

次回連絡 令和5年12月12日(火) 9時30分～ 予定

閉会